

2023 年度第 2 回運営委員会・委託業者合同会議議事録

日 時：2023 年 11 月 16 日(木) 14：00～15:30

場 所：Web 会議

参加者：岡田智佳子（大学図書館支援機構）、高野真理子（大学図書館支援機構）、辺見純子（帝京大学）、柄田明美（国立音楽大学）、杉本若葉（慶應義塾大学）、岡本諒子（早稲田大学）、細本有理子（成蹊大学）、佐々木綾花（立正大学）、丸山 雄太（大正大学）

事務局：飯泉慎也、野村彩衣（専修大学）

オブザーバー： 米澤誠（大学図書館支援機構）

※順不同、敬称略

※今回より大学図書館支援機構理事長の岡田智佳子様が参加することとなった。

議事概要：

1. 2023年度研修事業実施状況報告（研究部）（資料1）

資料に基づいて説明がなされ、研修会とオンデマンド研修の現在の状況が報告された。

2. 2023年度研修事業実施状況報告（大学図書館支援機構様）（資料2）

大学図書館支援機構の高野様より資料に基づいて説明がなされた。各研修の開催内容と状況について報告があった。

3. 2023年度研修事業に関する中間評価（資料3）

資料に基づいて説明がされた。研修会とオンデマンド研修の中間アンケート結果について、記述欄に寄せられた感想がいくつか紹介され、次年度の研修会に向けて確認がなされた。

4. 2023年度研修報告大会について（資料4）

資料に基づいて説明がなされた。大学図書館支援機構から4点質問があり、研究部担当理事校よりその場で回答を行った。

- ・発表時間20分は質疑応答を含めた時間か。
→含めた時間である。20分を超える場合は質疑応答はなしとしたい。
- ・発表予定者が体調不良等で欠席した場合どのように対応するか。
→各コース内で臨機応変に対応いただきたい。

- ・発表者と講師は申込が必要か。
→発表者はこちらでウェビナーを登録するので不要である。講師は大学図書館支援機構からお知らせいただき、個々で登録を行ってほしい。
- ・報告会当日は著作権講習会と時間が一部重複している。研修会参加者の途中からの参加は可能か。
→可能である。途中からの参加で構わない。

5. 2024年度研修事業（案）について（資料5）

次年度研修事業について検討状況が報告された。各研修と実施内容案が説明され、大学図書館支援機構の検討結果が共有された。

共有内容から研修会について以下のとおり確認がされた。

- ・初任者研修：次年度も引き続き実施。
- ・PB研修（データ分析・活用）：データ取り扱いのスキルアップを目指すため実施を希望。大学図書館支援機構でのデータサイエンス分野をテーマとした研修の実施については保留とし、実施方法を引き続き検討する。
- ・スキルアップ研修（和漢古典籍）：次年度も引き続き実施。参加者のレベルや地域を考慮し、前期（オンライン形式の座学）、後期（実際の資料を用いる実習を行う対面形式）に分けるなど研修の構成を工夫する。対面での実施方法（2日連続の合宿形式が可能か等）について大学図書館支援機構から講師に確認を行う。
- ・スキルアップ研修（資料管理）：資料管理について多面的な切り口があるためスキルアップ研修ではなくPB研修として実施する。参加者が資料管理に関する課題を設定し、専門家を招くことも検討する。課題解決のためのデータ分析（Excel等を用いた統計分析）技術の習得を含めて実施する。
- ・スキルアップ研修（電子資料）：次年度も引き続き実施するが、今年度の網羅的な内容から、テーマを絞ったものとし、研修の名称も「電子資料」から設定テーマに合わせたものに大学図書館支援機構と講師で調整を行う。
- ・スキルアップ研修（機関リポジトリ）：データ登録など実務面での研修の要望が多いため実施を希望。ただしJPCOARでの研修も実施されているので、初心者向けの内容とし、実施する。
- ・スキルアップ研修（レファレンス）：複数の講師によるオムニバス形式で実施する。
- ・スキルアップ研修（利用者教育）：実施する。

オンデマンド研修については、NCR2018のNIIの対応内容が未発表で教材改訂が難しいため図書コースは実施しないこととなった。次年度は雑誌コースのみ実施する。

6. その他

私立大学図書館協会東地区部会研究部

特になし

以上

配布資料：

資料 1_2023 年度研修事業実施状況報告（研究部）

資料 2_私立大学図書館協会東地区部会研修関係 2023 年 11 月報告

資料 3_2023 年度私立大学図書館協会東地区部会研修事業に関する中間評価

資料 4_2023 年度私立大学図書館協会東地区部会研修報告大会実施について

資料 5_2024 年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修事業（案）について